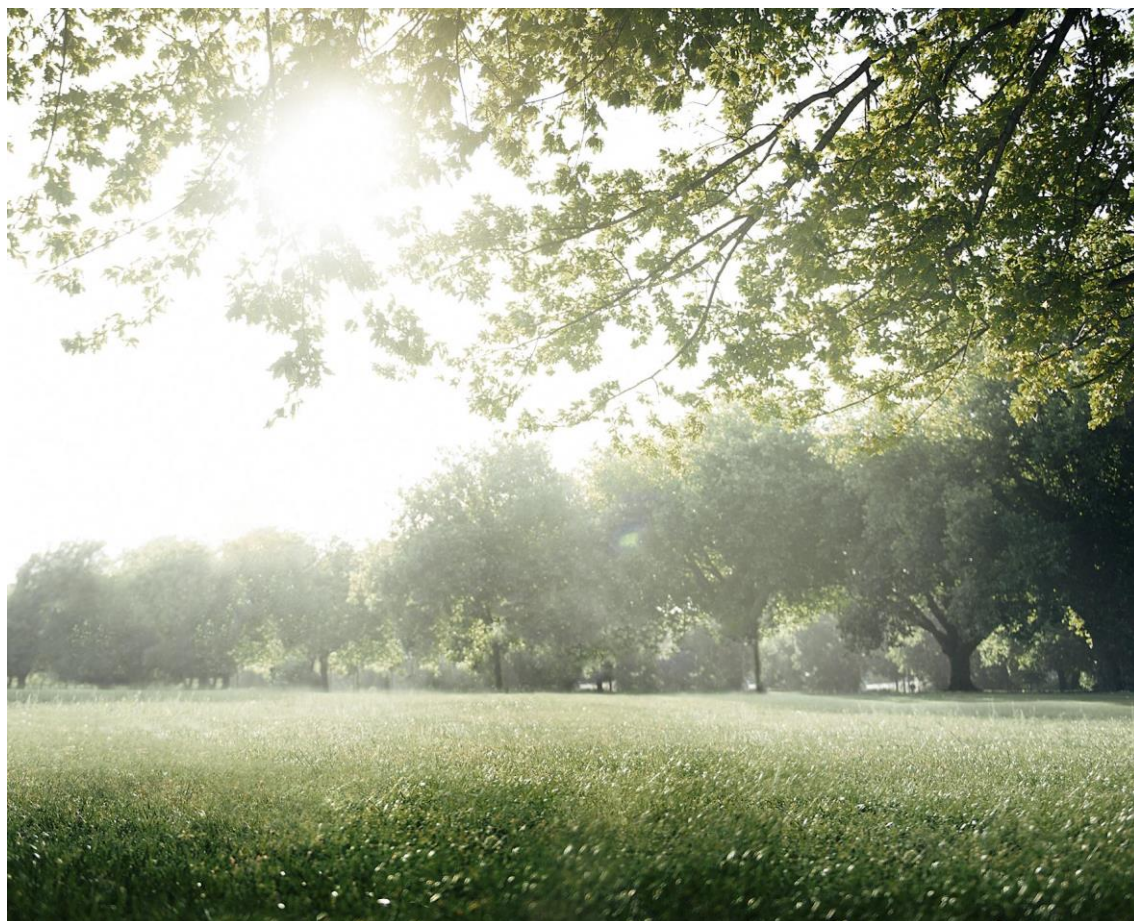


# 環境報告書

72期 (株)富士根産業 本社工場



# ものづくりを通し、社会への貢献と社員の 生きがいを実現します。

私たちは、金属加工部品の製造に伴う環境影響に配慮し、明日の暮らしを快適に維持するためにクリーンでエネルギーロスの少ない高品質の部品作りを行なうことによって、将来にわたり人々が安心して暮らせる社会に貢献していきます。

富士根産業では、当社の経営理念である

「健全な財務を確保し、社会と環境に貢献する。」  
「お客様と共に喜べる、感動共有のものづくりをする。」  
「やりがいと自己成長がある、活発な職場とする。」

ことを達成するために、法令、規則、社会規範を遵守することは勿論、環境方針の環境保全、汚染の防止、持続可能な資源の利用や環境保護に努めております。

環境事故を発生させず、環境保全を確実に実行していくことは、製造会社にとって社会から認められる最低条件として考え活動しております。本社工場の環境に関する考え方や取組みをご理解いただくために、環境報告書を編集、発行いたしました。

この環境報告書に掲載されております結果につきましては、まだまだ未熟であり、皆様のご要望、ご期待にかなう内容ではございませんが、ご一読頂き本社工場の事業活動とあわせて環境保全活動にご理解賜りますようよろしくお願いいたします。

発行 2022.07.22  
編集 (株)富士根産業 本社工場  
環境事務局

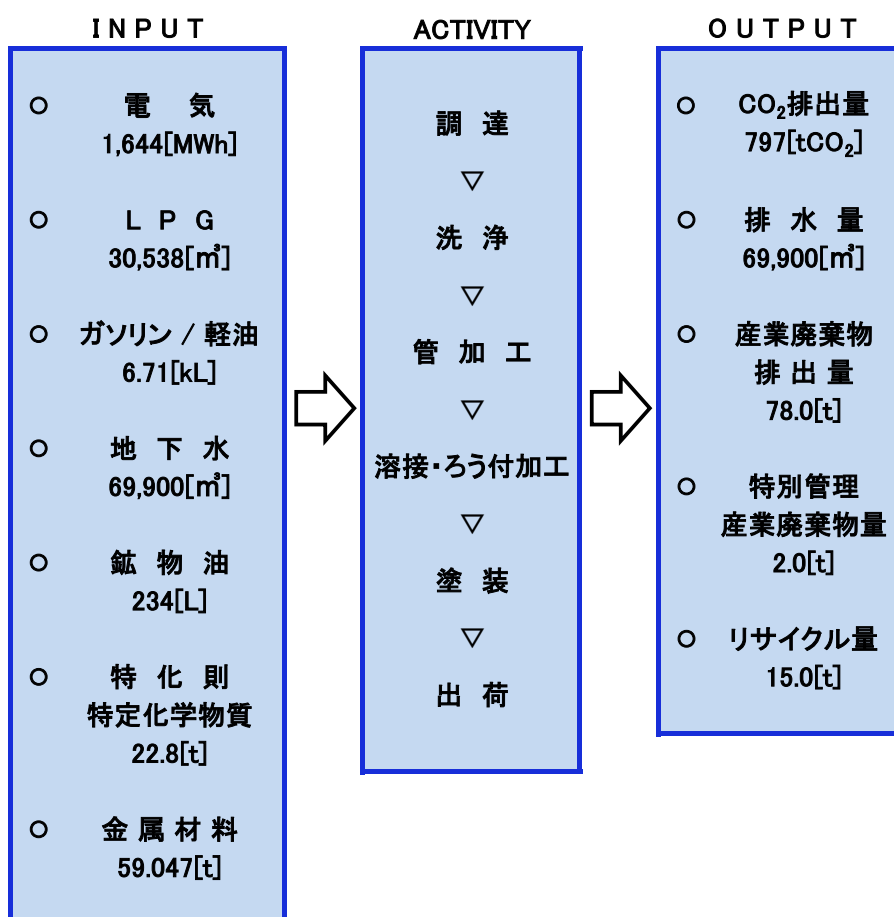
## ■環境基本方針

環境法規制及び他の関連基準の遵守に努めると共に、以下の環境方針を定め、環境保全及び汚染の予防、持続可能な資源の利用や気象変動対応並びに環境保護等にも努めます。

- 1) 環境影響に配慮した製品の設計・開発を行いません。
- 2) 省エネルギー(電気・ガス等)に努めます。
- 3) 化学物質、産業廃棄物の削減及びリサイクル化を推進します。
- 4) 鉱物油、化学物質等の漏洩の防止に努めます。
- 5) 環境方針には「トップマネジメントのコミットメント」も含めます。

## ■マテリアルバランス

### ■ 72期事業活動と環境負荷



## ■ 環境活動の目標と実績

本社工場は、72期に策定した環境目標に対し、各部門で具体的な施策を立て目標達成に向け取り組みを推進しました。

## ■ 環境活動の各担当部門

(◎:重点的な取り組み ○:継続的な取り組み)

環境目的への取り組み	担 当 部 門							
	総務	営業	管理	技術	品証	製1課 1Gr	製1課 2・3Gr	製2課
1. 電力使用量の削減						◎	○	○
2. ガス使用量の削減						◎	○	○
3. コピー用紙使用量の削減		◎			○			
4. プレス工作油使用量の削減							◎	
5. 産業廃棄物排出量の削減			◎			○	○	○
6. 洗浄剤・洗浄溶剤使用量の削減			○	◎			○	
7. 工場境界地騒音レベル 管理基準65dBの維持管理			◎					
8. エコマーク商品優先購入	◎		○		○			

## ■ 環境活動目標及び結果

\*72期の実績('21年4月~'22年3月)

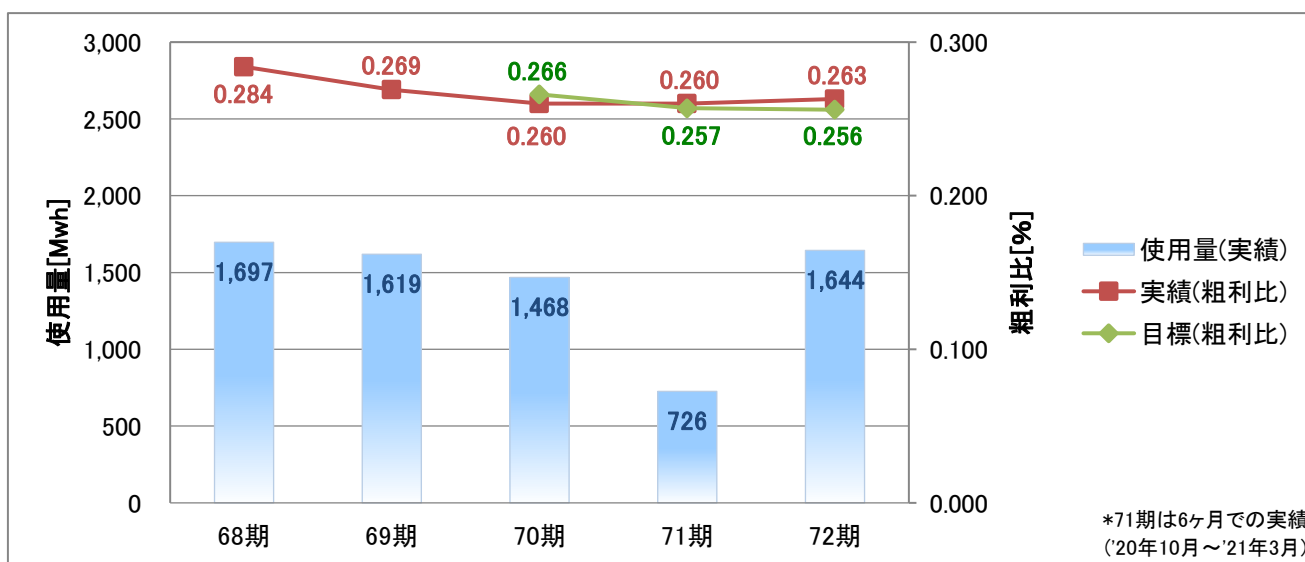
環 境 目 的	環 境 目 標	指 標	72期目標	72 期 実 績		
				実 績	評 価	ま と め
省エネ及び節電の推進 地球温暖化対策	電力使用量の削減	使用量/粗利	0.256%以下	0.263%	×	・工場内照明LED切替 ・デマンド管理
有害な恐れのある化学物質の削減	化学物質等の漏洩防止	流 出	ゼ ロ	ゼ ロ	○	・化学物質の使用量把握と在庫管理 ・緊急対応訓練 ・漏洩リスクの周知
廃棄物の排出抑制及び適正管理	廃油排出量の削減	使用量/粗利	0.5%維持	0.559%	×	・炭化水素洗浄機付帯設備の真空ポンプ能力低下
	廃プラ排出量の削減	使用量/粗利	6.0%維持	8.357%	×	・中国サプライヤ乾燥剤(シリカゲル)の季節限定での抑制効果
工場境界地の騒音削減	工場境界地騒音レベル 管理基準65dB維持管理	騒音レベル	65dB以下	59.9dB (MAX)	○	・電動フォークリフトへ切替推進 ・空ふかしの禁止 ・制限速度の遵守
省エネ活動	残業時間の削減	残業時間	4,100 時間以下	6,657時間	×	・間接部門の定時退社の推進 ・ホワイトボードによる業務進捗管理

廃油の排出量については、炭化水素洗浄機の老朽が進んでおり、蒸留しきれない洗浄液も廃油となってしまったため排出量が多くなってしまいました。来期は設備更新もしくは部分的なオーバーホールの検討を進めていきます。

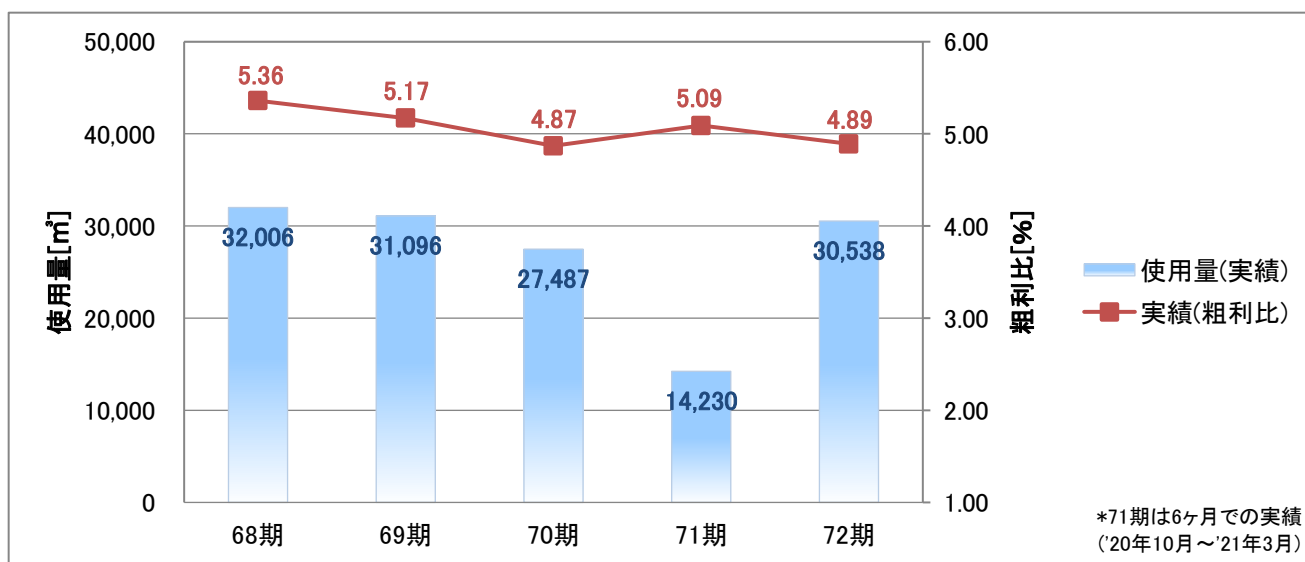
残業時間については、管理部門で全体の53.9%と最も多く、続いて営業技術部門が32.4%となり、2部門で全体の80%以上を占めました。新たな生産管理システム(Leap)の立上げ準備のためマスタ登録などの業務が増えたこと、また原材料の価格高騰に伴う価格改定が必要となり、資料作成等の業務が増えたことが原因と思われます。

## ■ 地球温暖化対策

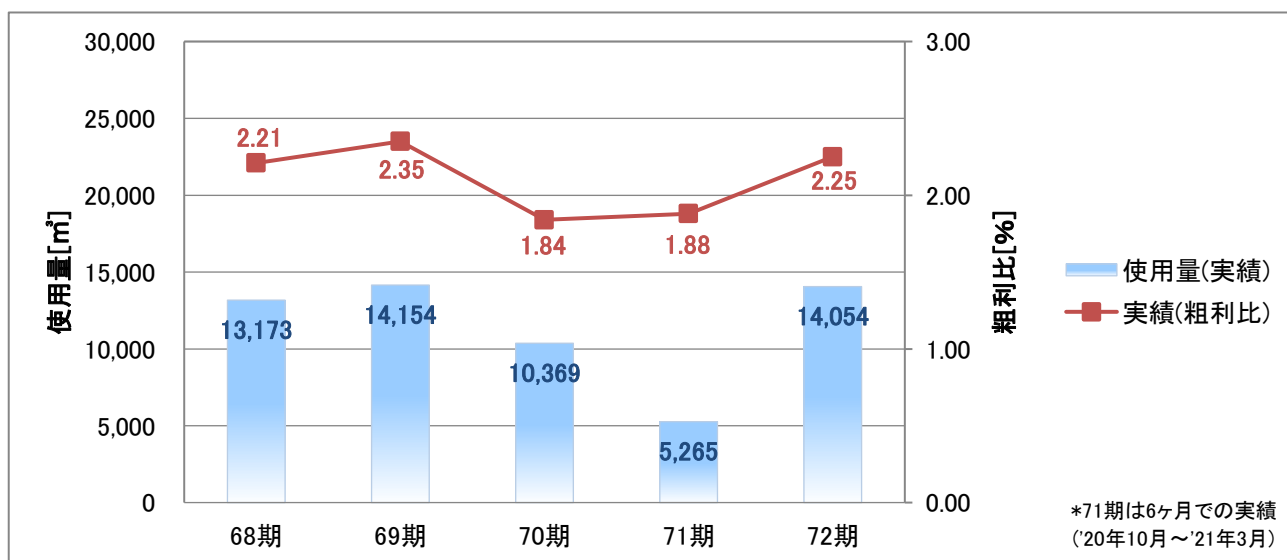
### ■ 電力使用量と粗利比率の推移



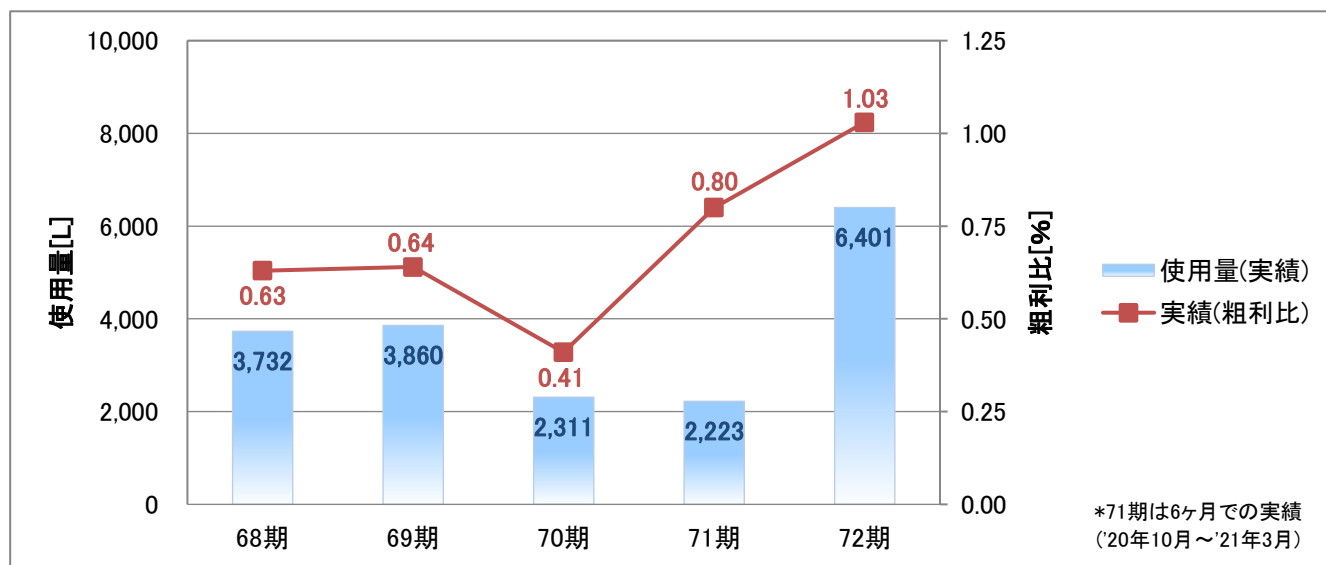
### ■ LPG使用量と粗利比率の推移



### ■ アルゴン/炭酸使用量と粗利比率の推移



## ■ガソリン使用量と粗利比率の推移

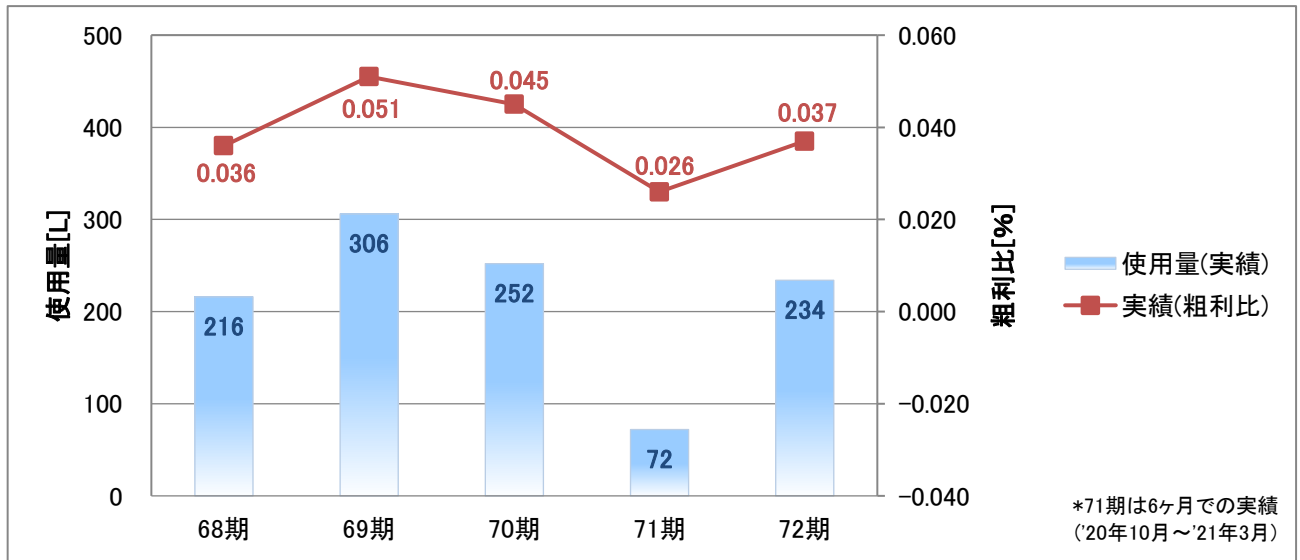


70期はコロナ感染拡大防止対策の影響を受け、客先への営業活動が極端に減少してしまった。71期は感染対策を十分にとり営業活動を再開したことにより、6ヶ月での集計となったが例年通りの水準まで戻りガソリンの使用量が前期に比べると増加した。

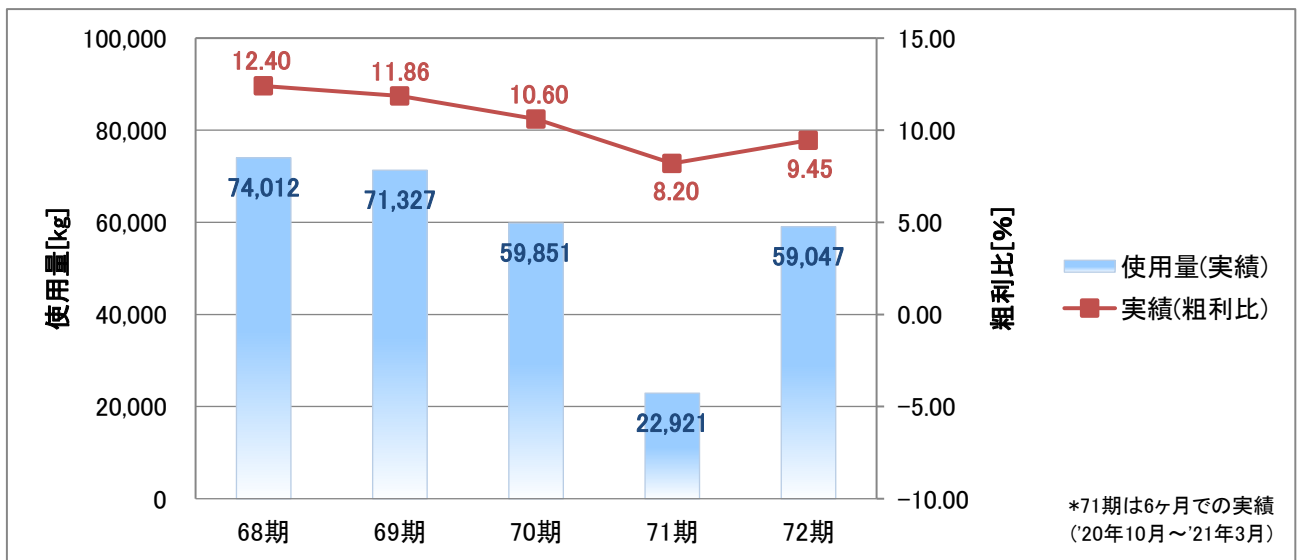
72期はコロナ禍のなかではあったが、お客様との面談が比較的可能であった。遠方のため従来は電車による移動をしていた訪問先に対して、感染対策のため車両で移動をしたことが例年以上の使用となった原因と思われる。

## ■ 省資源

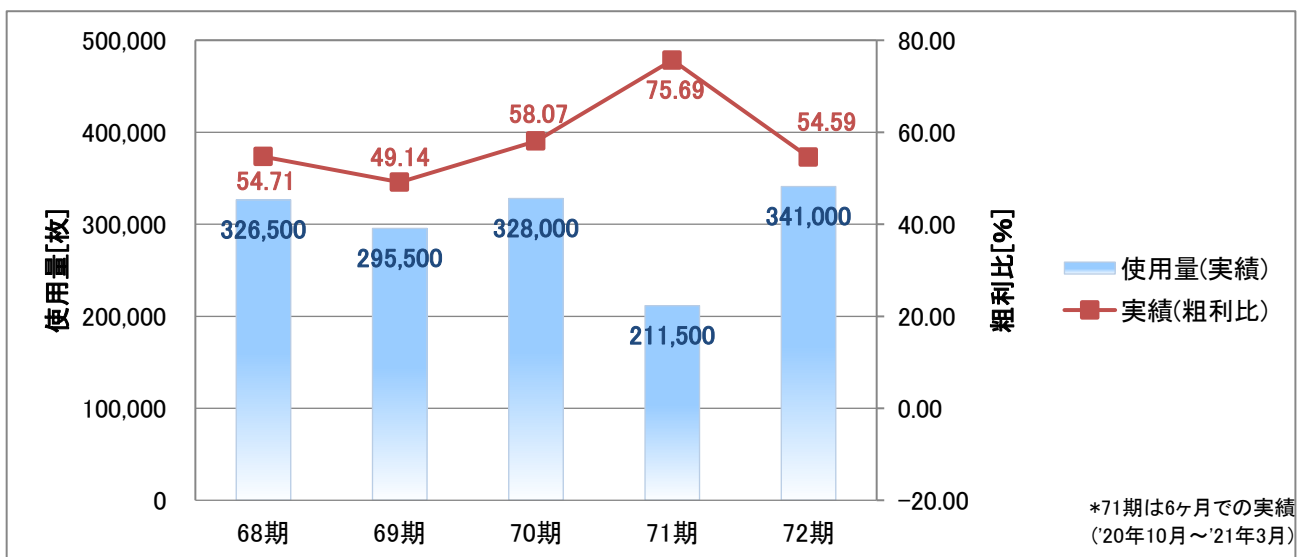
### ■ プレス工作油使用量と粗利比率の推移



### ■ 金属材料使用量と粗利比率の推移

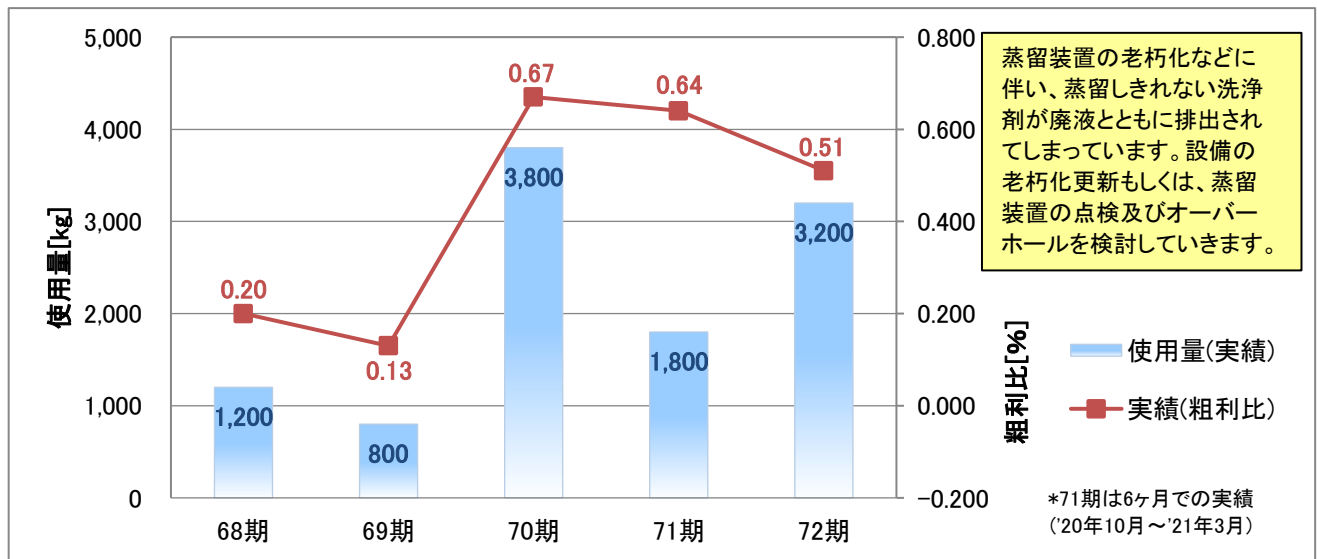


### ■ コピー使用量と粗利比率の推移

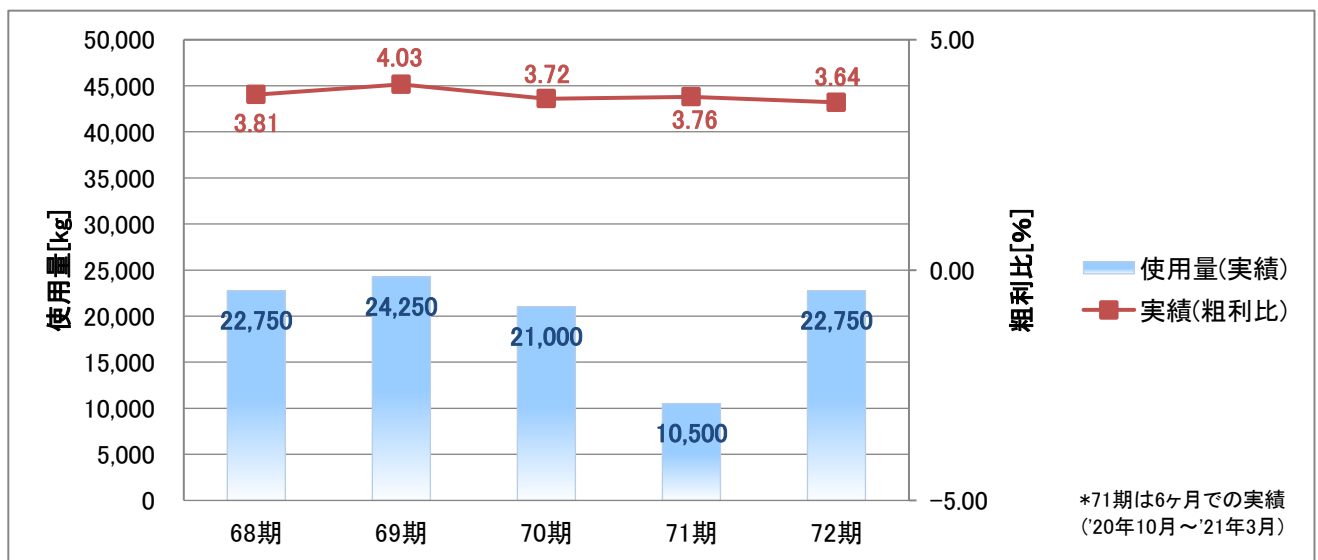


## ■ 有害な恐れのある化学物質削減

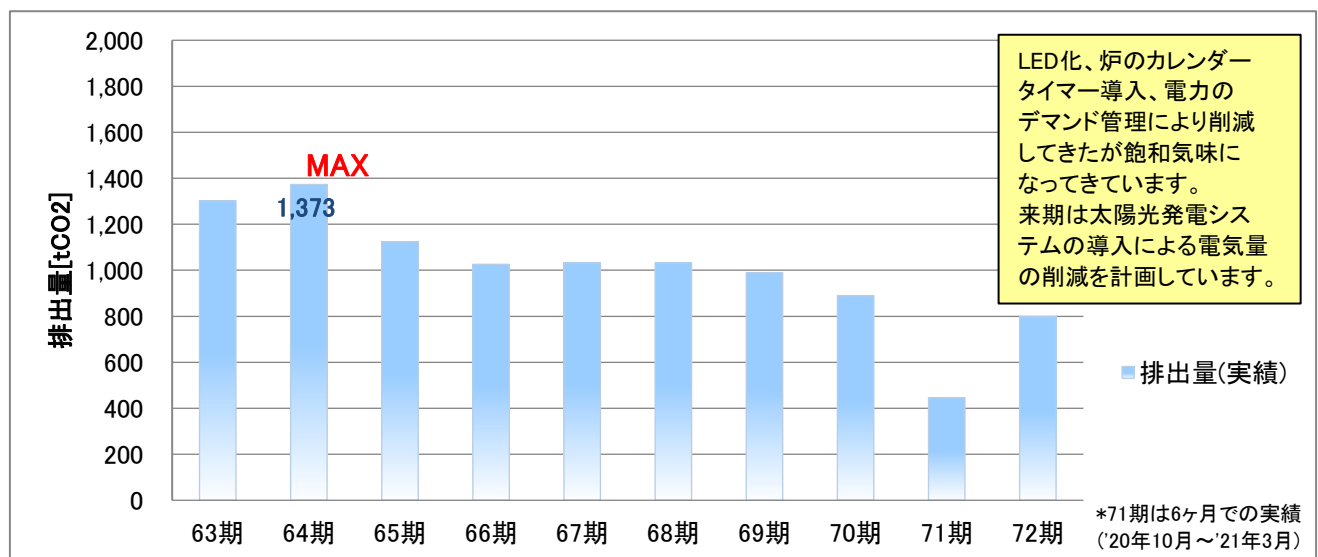
### ■ 洗浄剤使用量と粗利比率の推移



### ■ 洗浄溶剤使用量と粗利比率の推移



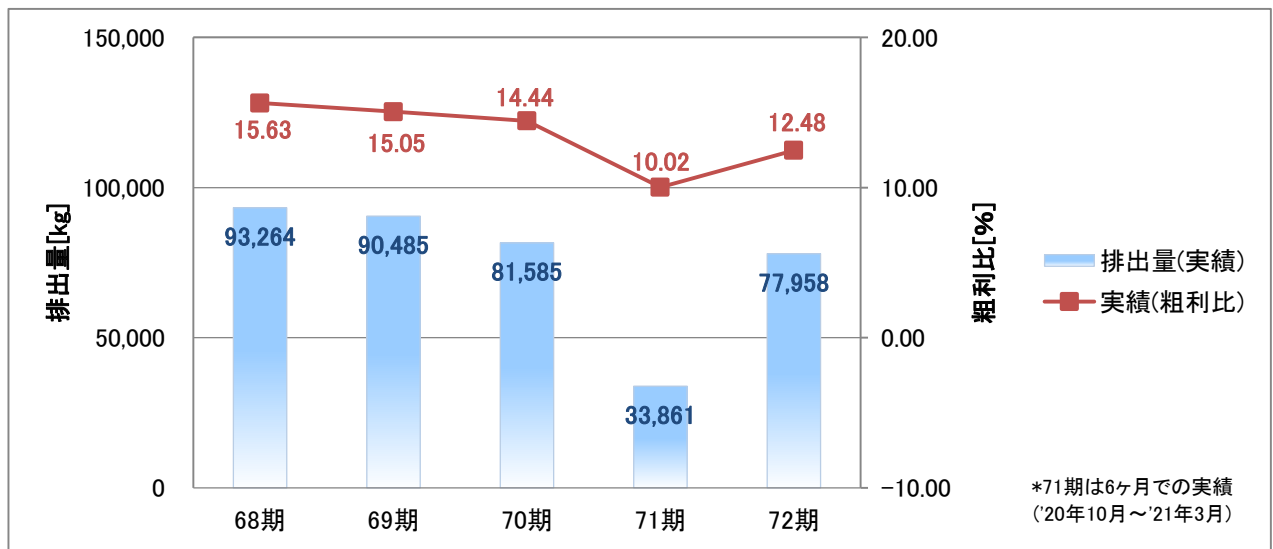
### ■ 地球温暖化対策(CO<sub>2</sub>排出量)



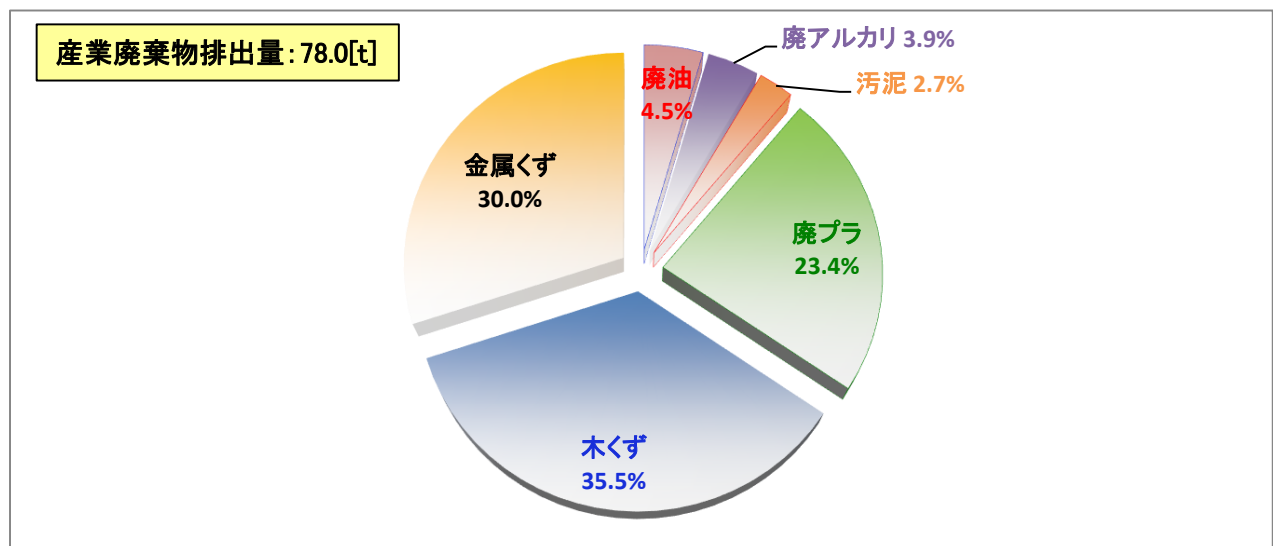


## ■ 廃棄物の排出抑制及び適正管理

### ■ 産業廃棄物の排出量と粗利比率の推移

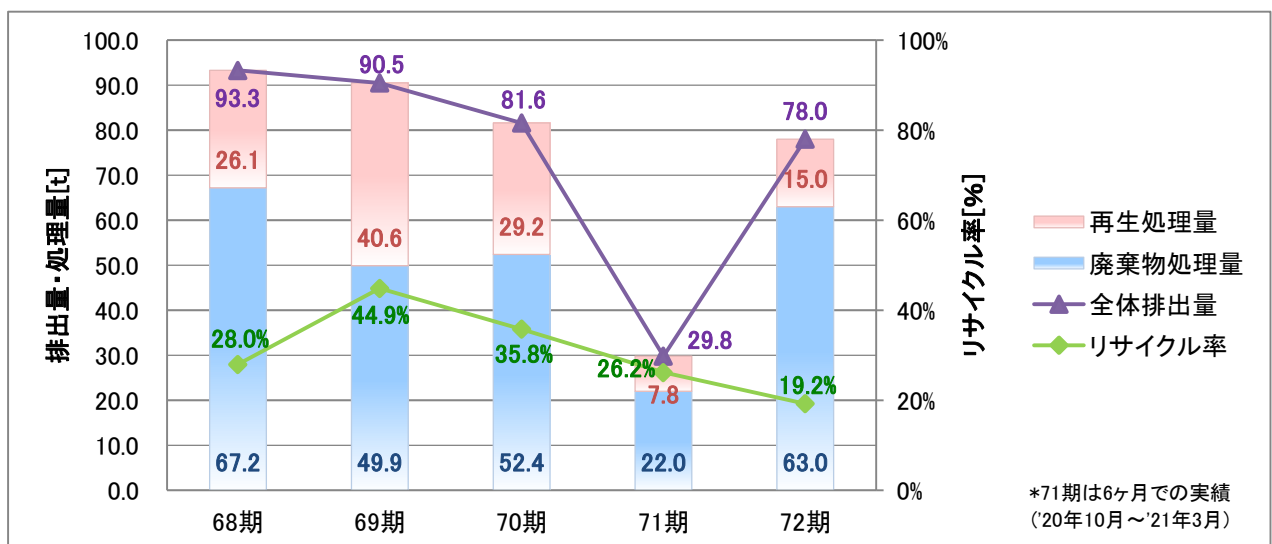


### ■ 産業廃棄物の分類



## ■ リサイクル推進

### ■ 産業廃棄物量とリサイクル量の推移



## ■ 環境活動の主な取り組み

### ■ 工場照明LED化とデマンド管理

照明器具に不具合が生じ交換の必要が出た場合はもとより、計画を立て工場照明のLED化を進めています。

また、ピーク電力に到達する前のアラートにより未使用設備や照明の再確認を行ない、電力の抑制に努めました。



## ■ 事業廃棄物の管理

### ■ 産業廃棄物委託業者の実地確認

産業廃棄物処理法の条例改正により廃棄物の運搬または処分を1年以上にわたり継続して委託する場合には、毎年1回以上の定期的な実地確認が必要となりました(県条例施行2007.10.1)。

当社では年1回、各産業廃棄物の最終処分場の視察を行ない、評価票をもとに公的書類、処理工程の確認、評価をしております。



写真：三和油化工業（株）様（廃油処理委託業者様）実地確認

### ■ 特定化学物質の管理

胆管がん事案の原因物質の1つとして考えられるジクロロメタンを含めた、発がんのおそれがある有機溶剤10物質について、「有機溶剤中毒予防規則の措置対象物質」から、「特定化学物質障害予防規則の措置対象物質」に移行しました。

本社工場ではジクロロメタンを使用して部品洗浄を実施しておりますが、化学物質の発散を抑制するための設備の設置、作業環境測定の実施、特殊健康診断の実施、作業主任者の選任などの有機溶剤中毒予防規則に基づく措置に加え、健康診断や作業環境測定の結果、作業の記録などを30年保管しております。

2022年4月より適用される、溶接ヒューム(金属アーク溶接作業)の特化則改訂に向けて、各作業場のヒューム濃度測定を行ないました。測定結果より、適切なマスクを選定して2022年4月1日より作業者が着用できるように準備しました。

### ■ 限られた資源の有効利用の推進

本社工場では、工場から発生する産業廃棄物だけでなく、一般廃棄物を含め様々な形で再資源化を推進しています。

1. 不要になったファイル内の書類
2. 炭化水素洗浄機から排出される廃油
3. 製品の梱包材として納入された木枠(木くず)
4. 塗装装置及びその排水処理設備から排出される化成スラッジ(汚泥)
5. 不要になったプラスチックコンテナ

## ■ グリーン調達

環境保全の保護に配慮した物作りのために、お取引様の「グリーン調達基準」及び社内基準に遵守した環境負荷の少ない資材の調達に心がけ、お取引先様とともに環境保全に努めています。

本社工場では、一般購入物品の購入指針として使用禁止物質を独自に定め、省エネ、リサイクルをポイントとしたグリーン調達を推進しています。

また、調達取引先様に対し積極的な環境保全の取り組みをお願いすると共に環境負荷の小さい材料、部品を提供して頂くために製品含有化学物質の管理の徹底をお願いしております。

事務用品につきましては随時エコマーク品への切り替えを推進しています。

欧州のRoHS指令における特定有害物質の使用制限につきましては、100%対応を2007年に完了し、現在、欧州のREACH規則で求められる情報伝達義務に対応するために各部品の細部にわたり調査、回答を実施しています。

## ■ 環境教育

環境や環境問題に対する興味・関心を高め、必要な知識・技術・態度を獲得させるために行なわれる教育訓練活動を実施しています。

本社工場では、全社員に環境教育を実施するために年間の教育訓練計画を策定し、社内教育及び外部セミナー等の参加により有効性の評価をしています。

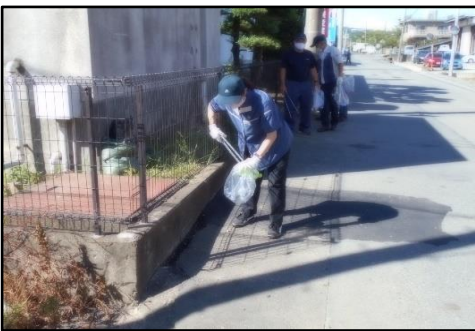
また、環境活動に必要な各種の公的資格等の取得を推進しています。

◎有資格者

★危険物取扱者：7名      ★有機溶剤作業主任者：13名      ★特定化学物質等取扱主任者：5名  
★公害防止管理者：1名      ★特別管理産業廃棄物管理責任者：2名

## ■ 地域ボランティア活動

工場及び工場に隣接する住宅沿いに面している市道の除草、ゴミ拾いを行ない、地域に貢献できる企業を目指しております。



◆工場周辺のゴミ拾い作業

## ■ 緊急事態対応訓練

危険物、塗料、化学物質の流出など緊急事態に備え、随時、従業員の教育と訓練を行なっています。

教育内容	実施日
塗装及び酸・アルカリ流出事故緊急対応訓練	2021.12.23
危険物の流出事故緊急対応訓練	2021.10.05

本社工場では、従業員に対して重要箇所の認識、緊急時の対応方法など環境教育を随時、行なっています。

さらに迅速に対応できるように緊急連絡網の整備、緊急対応備品の整備、重点設備の現地での実施訓練など多くの状況を想定した対応訓練を実施しています。



◆緊急対応訓練

## ■ コンプライアンス

企業の倫理観に基づき法令を遵守しています。

本社工場では、関連する法規制について毎年1回遵守評価するとともに、この基準を超えないように監視・測定を徹底しています。

### ■ 72期工場排水水質検査（測定日：2021年4月13日、天気：雨）

\*水素イオン濃度、BOD、COD、SS、n-ヘキサンは4月のみの検査となるため'21年4月の検査結果となります

計量の対象	基準	排水口		判定
		総合	出荷センター	
水素イオン濃度 [pH]	5.8 - 8.6	7.8	6.7	◎
生物学的酸素要求量(BOD) [mg/ℓ]	≤160 (日平均≤120)	34	9.9	◎
化学的酸素要求量(COD) [mg/ℓ]	≤160 (日平均≤120)	26	11	◎
浮遊物質(SS) [mg/ℓ]	≤200 (日平均≤150)	3	51	◎
n-ヘキサン抽出物質含有量 [mg/ℓ]	< 5	< 0.5	< 0.5	◎
銅含有量(Cu) [mg/ℓ]	< 3	< 0.2	< 0.2	◎
亜鉛含有量(Zn) [mg/ℓ]	< 2	< 0.2	< 0.3	◎
クロム含有量(Cr) [mg/ℓ]	< 2	< 0.2	< 0.2	◎
ニッケル含有量(Ni) [mg/ℓ] ※1	< 2	< 0.2	< 0.2	◎
有害物質				
カドミウム及びその他化合物含有量 [mg/ℓ]	< 0.03	< 0.002	< 0.002	◎
トリクロロエチレン含有量 [mg/ℓ]	< 0.1	< 0.01	< 0.01	◎
ジクロロメタン含有量 [mg/ℓ]	< 0.2	< 0.02	< 0.02	◎
1,1,1-トリクロロエタン含有量 [mg/ℓ]	< 3	< 0.3	< 0.3	◎

※1 静岡県条例による

■72期工場騒音レベル測定 第3種区域:昼間65dB以下(測定日:2021年5月13日)

測定箇所	測定時刻	騒音基準(dB)	測定値(dB)	判定
①	8:54	≦65	59.9	○
②	8:19		57.3	○
③	8:25		53.9	○
④	8:30		58.4	○
⑤	8:38		48.9	○
⑥	8:46		57.8	○
⑦	8:58		59.0	○

測定箇所	測定時刻	騒音基準(dB)	測定値(dB)	判定
①	13:05	≦65	59.4	○
②	13:15		58.1	○
③	13:25		56.1	○
④	13:30		58.6	○
⑤	13:40		52.5	○
⑥	13:46		57.0	○
⑦	13:55		56.4	○

測定箇所	測定時刻	騒音基準(dB)	測定値(dB)	判定
①	15:44	≦65	56.4	○
②	15:51		57.3	○
③	16:00		54.9	○
④	16:10		56.9	○
⑤	16:17		49.8	○
⑥	16:26		56.0	○
⑦	16:32		57.7	○

